

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理
(予算費目名) 廃棄物処理費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー・等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

・浜松市全域のごみを効率的に処理するために施設整備を図るとともに、下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理計画区域外において、適正な汚水処理を目指し、美しい環境の保全・再生につなげていく。
・一般廃棄物を適正に処理し、美しい環境の保全・再生につなげていく。
・浜松市の一般廃棄物を安全・安定的な処理を継続するため、新しいごみ処理施設を整備する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	2,372,029	5,787,428	7,020,476	4,376,466
決算	2,408,984	5,667,786	6,747,045	
人件費(A)	230,400	285,200	275,000	253,800
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,639,384	5,952,986	7,022,045	4,630,266

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
新清掃工場建設の進捗率	%	100	目標	1.52	1.86	3.63	5.42
			実績	0.90	1.57	2.46	
し尿処理施設の長寿命化の進捗率	%	100	目標	8	42	65	70.9
			実績	12.6	39.9	62.6	
不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールの実施率	%	-	目標	95	100	100	-
			実績	100	100	100	

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

・浜松市の一般廃棄物を安全・安定的な処理を継続するため、新しいごみ処理施設を整備する。
・浜松市全域のごみを効率的に処理するために施設整備を図るとともに、下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理計画区域外において、適正な汚水処理を目指し、美しい環境の保全・再生につなげていく。
・一般廃棄物を適正に処理し、美しい環境の保全・再生につなげていく。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・新清掃工場及び新破砕処理センター施設整備運営事業の事業者を決定し、事業契約を締結した。
- ・東部及び西部衛生工場の長寿命化に係る整備事業を実施した。
- ・持ち去り行為については、パトロール等によって件数は減少しているが、特定の行為者が繰り返し行っている。
- ・家庭ごみ収集運搬業務委託及び資源物・特定品目の中間処理業務委託の契約更新に伴う入札を執行し、効率的な運用を図った。
- ・旧舞阪町クリーンセンターの解体を完了した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	収集業務管理事業		○	○		211,853	158,653	6.8			2.0
2	西部清掃工場運営事業					1,067,997	1,048,397	2.8			
3	衛生工場運営事業		○	○		813,533	781,833	3.1	2.0		1.0
4	ごみ計量システム維持管理事業					71,837	66,237	0.8			
5	新清掃工場整備事業		○	○		1,553,745	1,505,245	5.9	2.0		
6	旧ごみ処理施設管理事業					21,851	14,151	1.1			
7	北部収集窓口センター事業					845,593	795,893	7.1			
8	一般廃棄物処理施設整備事業基金積立金					1,156	456	0.1			
9	廃棄物処理運営経費(一般諸経費のみ)					42,701	5,601	5.3			
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						4,630,266	4,376,466	33.0	4.0		3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 収集業務管理事業

◇事業目的・事業対象

安全、衛生的な地域環境を維持していくために、環境美化活動を推進する。

◇事業の概要

■不法投棄対策・処理事業
 不法投棄撲滅及び持ち去り行為排除に向けて、関係各課と連携を図り監視パトロールや防止看板の配布等を行う。
■路上死亡動物回収事業
 住環境を良好に保つため、路上等における犬、猫などの動物の死体を回収する。
■連絡ごみ収集事業
 連絡ごみ受付センターの安定した運営並びに処理手数料の確実な徴収・収納を実施し、市民サービスの向上を図る。
■資源物処理事業
 ペットボトルとプラスチック製容器包装や特定品目を中間処理して、再資源化を行う。
■ごみ収集運搬事業【重点戦略項目No.63】
 家庭ごみ収集運搬業務委託(債務負担行為 平成28年度～平成32年度まで)の内容を検証・分析し、地域特性や処理施設の配置計画等を考慮した効率的な業務内容となるよう見直しを行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	165,493	165,079	391,974	158,653
	決算	160,244	156,274	287,128	
	国・県支出				
	市債				
	その他	79,322	83,290	71,499	63,493
	一般財源	80,922	72,984	215,629	95,160
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		40,600	42,000	53,200	53,200
人工	正規	5.0	5.2	6.8	6.8
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	2.0	2.0	2.0	2.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
家庭ごみ収集運搬業務委託内容の見直し				-		63
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	実施	継続運用	継続運用	継続運用		
実績値	実施	継続運用	継続運用			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
地域事情を考慮した家庭ごみ収集回数及び収集方法の見直し				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	—	—	—	—		実施
実績値	—	—	—			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

■不法投棄対策・処理事業
不法投棄撲滅及び持去り行為排除に向けて、監視パトロールや防止看板の配布等を行う。

■路上死亡小動物回収事業
住環境を良好に保つため、路上等における犬、猫などの小動物の死体を回収する。

■連絡ごみ収集事業
連絡ごみ受付センターの安定した運営並びに処理手数料の確実な徴収・収納を実施し、市民サービスの向上を図る。

■資源物処理事業
ペットボトルとプラスチック製容器包装や特定品目を中間処理して、適正に再資源化を行う。

■ごみ収集運搬事業【重点戦略項目No.63】
家庭ごみ収集運搬業務委託(債務負担行為 平成28年度～平成32年度まで)の内容を検証・分析し、地域特性や処理施設の配置計画等を考慮した効率的な業務内容となるよう見直しを行うための諸準備を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・持去り行為については、啓発活動やパトロール等によって件数は減少傾向にあるが、特定の行為者が繰り返し行っている。

・家庭ごみ収集運搬業務委託及び資源物・特定品目の中間処理業務委託の契約更新がなされ、新たな契約内容により円滑な業務が実施された。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年度から収集運搬業務委託の新たな契約がスタートしたことに伴い、契約内容及び金額積算の検証のため、実際の稼働状況データを収集した。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

更なる収集運搬経費の削減のため、引き続き、業務が安定する2年目の稼働状況データを収集し、経済的・効率的な収集運搬方法等を検討する材料としていく。

補助シート (事業名) 収集業務管理事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
63	・家庭ごみ収集運搬業務委託の見直し(H29～H32分)	・各清掃事業所による家庭ごみ収集委託に係る債務負担行為の設定(H28～H32)及び入札	・見直し後の家庭ごみ収集運搬業務委託の運用	
〇〇				

事業シート (事業名) 西部清掃工場運営事業

◇事業目的・事業対象

西部清掃工場の適正な運営・維持管理を行う。

◇事業の概要

対象施設: 西部清掃工場

- ・平成21年2月に稼働し、PFI手法(DBO方式)により、民間委託している。
- ・処理対象物は可燃ごみ、他工場焼却灰、下水汚泥等である。
- ・処理対象物をスラグ、精製塩やミックスメタルに再資源化し、最終処分場の延命化に貢献させる。
- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO)へ蒸気とごみ発電による電気を供給する。
- ・広域処理として、湖西市の可燃ごみを処理する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	H35	一般会計	自治事務(法令事務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,038,718	1,047,770	1,047,770	1,048,397
	決算	984,308	988,961	983,918	
	国・県支出				
	市債				
	その他	763,992	731,718	745,878	810,292
一般財源	一般会計繰入金	220,316	257,243	238,040	238,105
	人件費(報酬等)(千円)				
	人件費(千円)	11,900	11,200	12,600	19,600
人工	正規	1.7	1.6	1.8	2.8
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
可燃ごみの適正処理量の累計値(t)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	121,000	242,000	363,000	484,000		-
実績値	117,279	231,765	351,002			
ごみ発電出力の累計値(MWh)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	36	72	108	144		-
実績値	46	93	143			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・西部清掃工場の適正な運営・維持管理を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・総合水泳場へ電気、蒸気を供給し、余熱利用を行った。
・事業モニタリングにより適正な運営・維持管理を確認した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業モニタリングにより適正な運営・維持管理を確認した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業モニタリングを継続する。

事業シート (事業名) 衛生工場運営事業

◇事業目的・事業対象

・強靱なし尿処理体制を確立するため、施設の統廃合を見据えた施設整備と長寿命化工事を行い、し尿処理体制の効率化を目指す。

◇事業の概要

- 衛生工場維持管理事業
 - ・東部衛生工場、西部衛生工場のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。
 - ・休止中の浜北クリーンセンター、天竜衛生センター、細江し尿処理センターを適正に維持管理する。
 - 衛生工場長寿命化事業
 - ・西部衛生工場の長寿命化事業を行う。
- 【重点戦略項目No.66】 ■衛生工場長寿命化事業
- ・東部衛生工場については、平成29年度をもって長寿命化工事は完了(達成)。
 - ・西部衛生工場については、投入室床面防食工事等の工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S56	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	869,891	1,244,216	1,355,061	781,833
	決算	843,075	1,215,371	1,312,984	
	国・県支出				
	市債				
	その他		630,000	514,000	
	一般財源	843,075	585,371	798,984	781,833
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		71,400	49,800	50,800	31,700
人工	正規	7.6	5.2	4.8	3.1
	再任用(h31)	2.0	3.0	4.0	2.0
	再任用(h26)	1.0	1.0		
	非常勤	3.0		1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
運営維持管理に係る包括的外部委託化(施設数)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	0	1	1	達成(H29)		2
実績値	0	1	1	達成(H29)		
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
長寿命化計画に基づく施設整備の進捗率(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	8	42	65	70.9	77	100
実績値	12.6	39.9	62.6			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
東部衛生工場長寿命化工事進捗率(%)				-		66
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	12.4	56.2	100	達成(H29)		
実績値	14	63	100	達成(H29)		
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
西部衛生工場長寿命化工事進捗率(%)				-		66
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	23.5	29.4	50	58.8	70.6	100
実績値	23.5	32.4	52.9			

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

<p>■衛生工場維持管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場、西部衛生工場、天竜衛生センターのし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。 ・休止中の浜北クリーンセンター、細江し尿処理センターを適正に維持管理する。 ・西部衛生工場と細江し尿処理センターを統合し、し尿処理体制の効率化を図る。 ・し尿処理施設の統廃合として、天竜衛生センターの受け入れ終了の準備を進める。 <p>■衛生工場長寿命化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部及び西部衛生工場の長寿命化事業を行う。 <p>【重点戦略項目No.66】 ■衛生工場長寿命化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場の長寿命化工事を完了させる。
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場、西部衛生工場、天竜衛生センターのし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理した。 ・休止中の浜北クリーンセンター、細江し尿処理センターを適正に維持管理した。 ・西部衛生工場と細江し尿処理センターを統合し、し尿処理体制の効率化を図った。 ・し尿処理施設の統廃合として、天竜衛生センターの受け入れを終了した。 ・東部及び西部衛生工場の長寿命化事業を進めた。

・事業の見直し

<p>実施結果</p> <p>大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="-"/> / <input type="text" value="-"/> 事業費 <input type="text" value="縮小"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理した。 ・東部及び西部衛生工場の長寿命化に係る事業を実施した。 ・し尿処理施設の統廃合により、細江し尿処理センターを休止した。 ・東部衛生工場の長寿命化工事を完了させ、包括的外部委託化の準備を進めた。
<p>今後の方向性</p> <p>大項目 <input type="text" value="改善"/> 小項目 <input type="text" value="委託・指定管理"/> / <input type="text" value="一部廃止"/> 事業費 <input type="text" value="縮小"/> 人工 <input type="text" value="縮小"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・休止施設の跡地利用について検討を行う。

補助シート (事業名) 衛生工場運営事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
66	<ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場 B系列リニューアル工事 ・西部衛生工場 し尿槽防食工事他 	<ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場 B系列リニューアル工事 ・西部衛生工場 分離液槽防食工事他 	<ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場 B系列リニューアル工事(完了) ・西部衛生工場 放流ポンプNo.1更新工事他 	<ul style="list-style-type: none"> ・西部衛生工場 投入室床面防食工事他
〇〇				

事業シート (事業名) ごみ計量システム維持管理事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料として利用するための計量システムについて、適正な管理・運用を行う。

◇事業の概要

■ごみ計量システム維持管理事業

現 ごみ計量システムの運営

- ・市内の廃棄物処理施設の計量器で得られるデータをネットワークで結び、計量データを管理する。
- ・計量データは、一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料などで利用する。
- ・現ごみ計量システムは再賃貸借契約での運用とする。

新 ごみ計量システムの構築

- ・現システムの機器類の老朽化に伴う次期ごみ計量システムの供用開始に向け、システムを構築するための準備を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	32,740	15,511	15,428	66,237
	決算	32,648	15,408	15,266	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	32,648	15,408	15,266	66,237
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		1,400	2,800	5,600	5,600
人工	正規	0.2	0.4	0.8	0.8
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
新計量システム構築の進捗率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	0.2	50	20	100	—	—
実績値	0.2	3	20			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

現 ごみ計量システムの運営

- ・市内の廃棄物処理施設の計量器で得られるデータをネットワークで結び、計量データを管理する。
- ・ごみ計量データは、一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料などで利用する。
- ・現ごみ計量システムは再賃貸借契約での運用とする。

新 ごみ計量システムの構築

- ・現システムの機器類の老朽化に伴う次期ごみ計量システムの供用開始に向け、システムのあり方について検討を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・現行システムの適切な運用を図り、安定的なごみ処理に貢献した。
- ・システム更新の供用開始時期を1年延期し、システムの合理化、トータルコストの低減化を図るよう再検証を行い、新システム構築に向けての準備を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・システム更新の再検証の結果、新たなシステム開発はせず現行システムを再構築することとし、コスト縮減及び開発期間の短縮化を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・次のとおり新システムの構築・運用を進める。

平成30年度 新システム構築、試運転

平成31年度 新システム供用開始

事業シート (事業名) 新清掃工場整備事業

◇事業目的・事業対象

浜松市の一般廃棄物を安全・安定的に処理するため、新しいごみ処理施設を整備する。

◇事業の概要

【重点戦略項目No65】

新清掃工場及び新破砕処理センターの整備

- ・新清掃工場及び新破砕処理センター施設整備に係る造成工事を行う。
- ・新清掃工場及び新破砕処理センター施設整備のモニタリングを実施する。(PFI事業モニタリング)
- ・環境影響評価条例に基づく工事期間中の事後調査を実施する。
- ・搬入道路の側溝改良工事、道路改良工事を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	H35	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	231,850	342,116	239,309	1,505,245
	決算	359,592	327,883	185,527	
	国・県支出	133,467		5,515	238,069
	市債	190,400	69,100	25,100	1,110,900
	その他	20,000	243,000		13,000
	一般財源	15,725	15,783	154,912	143,276
一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		46,640	54,100	48,500	48,500
人工	正規	6.2	6.7	5.9	5.9
	再任用(h31)	0.9	2.0	2.0	2.0
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
新清掃工場建設の進捗率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1.52	1.86	3.63	5.42		100
実績値	0.90	1.57	2.46			
施設建設による環境への影響調査進捗率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	68	83	100	100		
実績値	45	86	100			
施設の建設と運営を行う民間事業者の選定事業進捗率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	32	89	100	100		
実績値	36	89	100			
PFI事業(設計・建設)の進捗率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値				2		100
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目No65】

新清掃工場の建設準備

- ・新清掃工場及び新破碎処理センター施設整備運営事業に係る入札を公告し、PFI事業者を決定する。
- ・環境影響評価における評価書及び事後調査計画書を作成する。
- ・搬入道路整備として熊小松天竜川停車場線の側溝改良工事を行う。
- ・搬入道路整備及び敷地造成に係る土地購入の手続きを進める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・新清掃工場及び新破碎処理センター施設整備運営事業の事業者を決定し、事業契約を締結した。
- ・環境影響評価における評価書の作成及び公告縦覧を行った。また、事後調査計画書を作成・提出した。
- ・搬入道路整備として熊小松天竜川停車場線の側溝改良工事を実施した。
- ・搬入道路整備及び敷地造成に係る土地購入の手続きを進めた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・敷地造成及び構内道路工事をPFI事業に含めることで、事業全体を効率化し、費用の抑制に努めた。
- ・事業者選定に際し、創意工夫と事業効率性を高いレベルで両立している事業者を選定したことにより、民間ノウハウの最大限活用に寄与した。
- ・循環型社会形成推進交付金に係る地域計画について、前計画は委託で作成していたが、市が直接作成することにより費用の抑制に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・民間ノウハウを最大限活用し、効率的かつ効果的な設計・建設を実施することにより、費用を抑制する。

平成30年度

(管理番号)

04 01 04 01 001510000 05

(担当課)

廃棄物処理課

(責任者)

苗村 英哉

(作成日)

平成 30 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 新清掃工場整備事業

◇事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
65	環境影響評価 PFIアドバイザー業務 アクセス道路測量 周辺道路測量設計調査	環境影響評価 PFIアドバイザー業務 敷地造成詳細設計 アクセス道路測量調査 周辺道路設計調査	環境影響評価(終了) PFIアドバイザー業務 (終了) アクセス道路設計調査 周辺道路用地調査 周辺道路工事	環境影響評価事後評価 PFI事業モニタリング業 務 周辺道路工事 PFI事業(設計・建設)
〇〇				

平成30年度

(管理番号)
04 01 04 01 001510000 05

(担当課)
廃棄物処理課

(責任者)
苗村 英哉

(作成日)
平成 30 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 新清掃工場整備事業

◇取組概要

浜松市の一般廃棄物を安全・安定的に処理する新たなごみ処理施設の建設について、効率的かつ効果的な事業を実施するため民間活力を導入し、市の財政負担の縮減と公共サービスの一層の向上を図る。

◇行財政改革の視点 4 市民協働・官民連携の推進

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 4003

取組事項名 新清掃工場及び新破碎処理センターの施設整備

個別計画等 計画名等

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	計画値					
	実績値					
2	計画値					
	実績値					
3	計画値					
	実績値					
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

旧ごみ処理施設を適正に管理する。また、計画的に旧ごみ処理施設を解体する。

◇事業の概要

旧焼却施設管理(舞阪町クリーンセンター、三ヶ日ごみ処理センター跡地)
 ・不法投棄や放火などを未然に防ぐための適正管理を行う。
 ・舞阪町クリーンセンターの解体を行う。
 旧最終処分場管理(静ヶ谷最終処分場、舞阪吹上第1廃棄物最終処分場跡地)
 ・静ヶ谷最終処分場排水処理施設の運転管理を行う。
 ・不法投棄や放火などを未然に防ぐための適正管理を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(法令事務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	21,486	635,083	179,585	14,151
	決算	18,447	630,550	174,290	
	国・県支出	4,512			
	市債				
	その他				
	一般財源	13,935	630,550	174,290	14,151
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		8,400	15,400	10,500	7,700
人工	正規	1.2	2.2	1.5	1.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
舞阪町クリーンセンター解体の進捗率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1	20	100	—	—	—
実績値	1	20	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
北部清掃工場の解体の進捗率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値		100	—	—	—	—
実績値	24	100	—	—	—	—
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

旧ごみ処理施設跡地管理(旧舞阪町クリーンセンター、三ヶ日ごみ処理センター跡地)
 ・不法投棄や放火などを未然に防ぐための適正管理を行う。
 旧最終処分場管理(静ヶ谷最終処分場、舞阪吹上第1廃棄物最終処分場跡地)
 ・静ヶ谷最終処分場排水処理施設の運転管理を行う。
 ・静ヶ谷最終処分場の廃止に向けてのモニタリングを行う。
 ・旧舞阪吹上第1廃棄物最終処分場の適正管理を行う。
 ・不法投棄や放火などを未然に防ぐための適正管理を行う。
 旧ごみ処理施設の解体
 旧舞阪町クリーンセンターを解体する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

 ・旧舞阪町クリーンセンターの解体を実施した。
 ・旧施設跡地等を定期的にパトロールを実施するなど、適正な管理を行った。
 ・静ヶ谷最終処分場排水処理施設の運転管理を適正に行った。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・静ヶ谷最終処分場排水処理施設の運転管理委託業務を包括化し、業務の削減を図った。
 ・旧舞阪町クリーンセンター解体工事を責任設計施行にて発注とすることで、設計積算業務を削減した。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・旧ごみ処理施設等跡地の活用又は移管に向けた検討を進める。
 ・静ヶ谷最終処分場排水処理施設の運転停止に向けて検証を行う。

事業シート (事業名) 北部収集窓口センター事業

◇事業目的・事業対象

北部収集窓口センター管轄内(中区、東区)の一般廃棄物について、生活環境の保全上支障が生じないように収集運搬の実施、また、資源物のリサイクルを推進するための回収を行う。
 また、北部収集窓口センターの所管業務を円滑に運営する。

◇事業の概要

■ごみ収集事業

- ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(中区、東区)の管理を行う。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び処理を行う。
- ・地域の環境美化活動による廃棄物の収集運搬を行う。
- ・ごみ集積所に関する相談、手続きを行う。
- ・ごみの出し方、分別等の相談受付を行う。
- ・古着、古紙類ほかの資源物回収事業を行う。
- ・各種啓発活動(出前講座ほか)を行う。

■北部収集窓口センター管理運営事業

- ・北部収集窓口センターの管理運営を行う。
- ・北部収集窓口センターの予算、庶務等に関する一般事務を行う。
- ・事業所内の清掃、設備点検等による安全な職場環境の形成を進める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和49年度		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算		833,405	787,062	795,893
	決算		830,620	784,722	
	国・県支出				
	市債				
	その他				250
	一般財源		830,620	784,722	795,643
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)			49,000	49,700	49,700
人工	正規		7.0	7.1	7.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
古着、古紙類の回収量(kg)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3,600	7,000	5,500	6,000		4500
実績値	6,738	5,950	5,680			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

<p>■ごみ収集事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(中区、東区)の管理を行う。 ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び処理を行う。 ・地域の環境美化活動による廃棄物の収集運搬を行う。 ・ごみ集積所に関する相談、手続きを行う。 ・ごみの出し方、分別等の相談受付を行う。 ・古着、古紙類ほかの資源物回収事業を行う。 ・各種啓発活動(出前講座ほか)を行う。 <p>■北部収集窓口センター管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部収集窓口センターの管理運営を行う。 ・北部収集窓口センターの予算、庶務等に関する一般事務を行う。 ・事業所内の清掃、設備点検等による安全な職場環境の形成を進める。

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(中区、東区)の管理においては、委託業者に対し指導・監督・調整を行い、大きなトラブルもなく適正な運営がなされた。また、委託業務中に人身事故の発生はなかったものの、車両事故は全体で倍増となったため、安全運転並びに被害に遭わないための注意喚起を図る。 ・集積所内のコンテナ数を減らすため、ペットボトル回収用のネット利用を促進し、配布数が前年度の約1.5倍増となった。 ・古着、古紙類ほかの資源物回収事業において当センター開設2年目の対比で見ると、回収量は前年並みとなる見込みであり今後も維持を計る。 ・その他の事業では、ほぼ前年並みの実績が得られた。

・事業の見直し

<p>実施結果</p> <p>大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="-"/> / <input type="text" value="-"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的なパトロールを実施し、不法投棄・不当排出廃棄物の排出量を抑制した。 ・生活環境の保全上支障が生じないように収集運搬の実施を行った。
<p>今後の方向性</p> <p>大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="-"/> / <input type="text" value="-"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業所建物内での古紙古着などの資源物回収については、民間回収拠点の増加により減少が予想されるが、市民の利便性を考慮し利用促進を進める。 ・北部収集窓口センターは、中区・東区全体をカバーする拠点として順調に業務を遂行している。今後も、よりいっそうの市民の利便を進める。

事業シート (事業名) 一般廃棄物処理施設整備事業基金積立金

◇事業目的・事業対象

廃棄物処理施設の建設等に係る資金の一部積立

◇事業の概要

基金積立の事務を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	801	1,500,560	3,001,015	456
	決算	800	1,500,560	3,001,014	
	国・県支出				
	市債				
	その他	800	560	1,014	456
	一般財源		1,500,000	3,000,000	
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

基金積立の事務を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

基金の積立を継続する。

事業シート (事業名) 廃棄物処理運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

廃棄物処理課の運営経費

◇事業の概要

廃棄物処理運営事業を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	11,050	3,688	3,272	5,601
	決算	9,870	2,159	2,196	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	9,870	2,159	2,196	5,601
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	49,360	60,200	43,400	37,100
	正規	7.0	8.6	6.2	5.3
	再任用(h31)	0.1			
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

廃棄物処理運営事業を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

廃棄物処理課の運営に係る、必要な予算を執行した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

廃棄物処理課の運営を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

廃棄物処理課の運営を引き続き行っていく。

政策シート (政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 南清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー・等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

南部清掃工場の適正な運営維持管理をすることにより、市民の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	475,828	526,552	651,640	652,259
決算	444,811	501,705	626,630	
人件費(A)	356,400	351,100	330,800	316,900
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	801,211	852,805	957,430	969,159

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
焼却場の安定稼働日数	日	-	目標	364	363	363	363
			実績	364	363	359	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

南部清掃工場の適正な運営維持管理をすることにより、市民の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・南部清掃工場の適正な運営維持管理を行い、焼却場の運転について電気設備点検時の2日間と修繕工事4日間を除き稼働することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	ごみ焼却施設運営事業					908,882	636,782	35.1	5.0		3.0
2	南清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)					60,277	15,477	6.0			1.0
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						969,159	652,259	41.1	5.0		4.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ焼却施設運営事業

◇事業目的・事業対象

南部清掃工場の安全・安心なごみ焼却及び適正な運営維持管理を行う。

◇事業の概要

- ・南部清掃工場に搬入される可燃ごみを適正かつ効率的に処理するため、公害防止・自動化・省エネシステムを導入し24時間運転する。
- ・燃烧ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分を電力会社へ売却し、再生可能エネルギーの地産地消にも寄与する。
- ・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行う。
- ・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和39年度	平成32年度	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	459,281	510,330	635,596	636,782
	決算	431,024	487,770	612,375	
	国・県支出				
	市債				
	その他	431,024	487,770	558,179	566,748
	一般財源			54,196	70,034
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		310,900	307,000	282,500	272,100
人工	正規	40.7	39.8	37.1	35.1
	再任用(h31)	1.0	4.0	4.0	5.0
	再任用(h26)				
	非常勤	8.0	5.0	3.0	3.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
焼却場の安定稼働焼却量(118,000t)に対する安全率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	±5.00	±5.00	±5.00	±5.00		-
実績値	1.91	0.27	-0.44			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
焼却場の安定稼働日数(日)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	364	363	363	363		-
実績値	364	363	359			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・南部清掃工場に搬入される可燃ごみを適正かつ効率的に処理するため、最新の公害防止・自動化・省エネシステムを導入し24時間運転する。
・燃焼ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分を電力会社へ売却し有効活用を図る。
・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行う。
・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・南部清掃工場に搬入された可燃ごみ117,482トン焼却した。
・燃焼ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分10,592,386kWhを電力会社へ売却し有効活用を図った。
・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行った。
・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成29年度からのごみ供給クレーン運転管理業務を委託することができ、南部清掃工場の安定稼働が維持できた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・当工場は平成35年度まで稼働する計画であるため、休止までの退職に伴う人員減による班員体制について引き続き検討していく。

事業シート (事業名) 南清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	16,547	16,222	16,044	15,477
	決算	13,787	13,935	14,255	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	13,787	13,935	14,255	15,477
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	45,500	44,100	48,300	44,800
	正規	6.5	6.3	6.9	6.0
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 平和清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー・等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

○安全かつ効率的なごみ処理体制を確立するとともに最終処分場施設の適正な維持管理を行う。
○埋立処分地の延命化を図る。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	587,584	595,386	643,431	652,780
決算	583,634	583,629	634,447	
人件費(A)	89,760	90,000	94,400	88,600
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	673,394	673,629	728,847	741,380

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率	%		目標	15以上	15以上	15以上	15以上
			実績	17.4	17.6	17.8	
平和最終処分場第2期埋立進捗率	%	62	目標	37	40	43	46
			実績	37	40	42	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

○安全かつ効率的なごみ処理体制を確立するとともに最終処分場施設の適正な維持管理を行う。
○埋立処分地の延命化を図る。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率は、平成28年度17.6%に対し平成29年度は17.8%と向上し目標値も上回ったことから順調に推移している。その結果、最終埋立処分量が抑制されることから埋立処分地の延命化に繋がるものである。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	不燃物等処理施設運営事業					431,733	411,333	2.0	1.0		1.0
2	埋立処分場運営事業					257,420	227,020	2.0	3.0		2.0
3	平和清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)					52,227	14,427	5.0			1.0
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						741,380	652,780	9.0	4.0		4.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 不燃物等処理施設運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物破碎処理施設を適正に運営維持管理することにより、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

◇事業の概要

- 不燃・連絡ごみを破碎しごみ減容化を図るとともに、排出される鉄・アルミ等の資源物を適正に再資源化する。
- 対象施設: 平和破碎処理センター
- 施設の運転管理及び設備保守点検等を実施する。
- 可燃物と不燃物の選別機能や資源物選別回収の適正効率を維持するため改修工事等の施設整備を行う。
- 公害関係法令を遵守し、臭気、騒音、振動、排水等の公害対策を講じて基準値以下とする。

【新清掃工場破碎処理センターの平成36年度供用開始(見込)後に平和破碎処理センターは廃止する】

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	356,857	369,750	404,312	411,333
	決算	354,905	364,726	399,865	
	国・県支出				
	市債				
	その他	114,278	170,555	12,779	146,175
	一般財源	240,627	194,171	387,086	265,158
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		22,920	23,400	21,700	20,400
人工	正規	1.9	2.5	2.0	2.0
	再任用(h31)	1.0	0.5	1.0	1.0
	再任用(h26)	0.7	0.5	0.5	
	非常勤	1.5	1.0	1.0	1.0

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	15以上	15以上	15以上	15以上	15以上	
実績値	17.4	17.6	17.8			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

不燃・連絡ごみを破碎しごみ減容化を図るとともに、排出される鉄・アルミ等の資源物を適正に再資源化する。
 ○対象施設:平和破碎処理センター
 ○施設の運転管理及び設備保守点検等を実施する。
 ○可燃物と不燃物の選別機能や資源物選別回収の適正効率を維持するため改修工事等の施設整備を行う。
 ○公害関係法令を遵守し、臭気、騒音、振動、排水等の公害対策を講じて基準値以下とする。

【新清掃工場破碎処理センターの平成36年度供用開始(見込)後に平和破碎処理センターは廃止する】

・事業の成果と課題

指標の達成度

・不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率は、磁性鉄16.2%、アルミ1.6%、計17.8%と、目標値15%以上を達成することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・破碎処理センターの維持管理業務の一部を再任用化し、正規職員を削減した。
 ・破碎処理センターの破碎・選別機能を維持するための整備工事や適正な保守点検等の実施により、可燃物と不燃物の選別機能や資源物選別回収の適正効率を維持することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・連絡ごみ、資源物受取業務の一部を委託化し、非常勤・再任用職員を削減する。
 ・施設機能を維持するための整備工事や修繕等の投資と廃止を見据えた必要最小限の施設維持管理の両立が必要である。
 ・臭気軽減に向けた一層の臭気対策が求められている。

事業シート (事業名) 埋立処分場運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物埋立処分地を適正に運営維持管理することにより、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

◇事業の概要

- 対象施設: ①平和最終処分場及び浸出水処理施設
 ②引佐最終処分場及び浸出水処理施設
 ③舞阪吹上第2廃棄物最終処分場

○最終処分場の適正管理を行う。

○西部清掃工場から排出される溶融飛灰固化物等及び平和破碎処理センターから排出される破碎不燃ごみや土砂・がれき等の破碎処理困難物を平和最終処分場に適正に埋立処分を行う。

○平和及び引佐の最終処分場埋立地に浸透した雨水を公共用水域に放流するため、浸出水処理施設において水質基準を満たすよう適正に処理する。

○埋立処分及び維持管理に伴う臭気、騒音、水質等の環境測定・検査や除草等の環境整備を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	209,187	205,897	221,824	227,020
	決算	208,172	201,372	219,458	
	国・県支出				
	市債				
	その他	50,000	70,000		46,000
	一般財源	158,172	131,372	219,458	181,020
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		23,680	27,500	33,600	30,400
人工	正規	2.3	2.5	3.0	2.0
	再任用(h31)	0.4	0.5	2.0	3.0
	再任用(h26)	0.1	1.0	1.0	
	非常勤	2.1	2.0	1.0	2.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
平和最終処分場第2期埋立進捗率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	37	40	43	46	48	62
実績値	37	40	42			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

○対象施設:①平和最終処分場及び浸出水処理施設
 ②引佐最終処分場及び浸出水処理施設
 ③舞阪吹上第2廃棄物最終処分場

○最終処分場の適正管理を行う。
 ○西部清掃工場から排出される溶融飛灰固化物等及び平和破碎処理センターから排出される破碎不燃ごみや土砂・がれき等の破碎処理困難物を平和最終処分場に適正に埋立処分を行う。
 ○平和及び引佐の最終処分場埋立地に浸透した雨水を公共用水域に放流するため、浸出水処理施設において水質基準を満たすよう適正に処理する。
 ○埋立処分及び維持管理に伴う臭気、騒音、水質等の環境測定・検査や除草等の環境整備を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・平和最終処分場第2期埋立容量567,700m³に対し、平成29年度末埋立地残余容量327,035m³となり、埋立進捗率43%の目標値以下をクリアすることができた。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・地元対策として環境整備事業の充実を図り、正規職員及び再任用職員を増員した。
 ・ごみ減量、資源化への推進活動に加え、平和破碎処理センターの不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率が目標値を上回り、その結果、最終埋立処分量が抑制され、平和最終処分場第2期埋立進捗率43%の目標値を上回ることなく計画通り実施することができた。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・環境整備事業の一部業務を正規職員から再任用職員にする。
 ・平和最終処分場(第2期)は、約20年後に埋立終了見込みであるが、さらに施設の延命化を図る。
 ・平和最終処分場の浸出水処理施設運転管理業務委託の包括的業務委託への転換が可能か検討が必要である。

事業シート (事業名) 平和清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

事業費(千円)		H27	H28	H29	H30
予算	21,540	19,739	17,295	14,427	
決算	20,557	17,531	15,124		
国・県支出					
市債					
その他	739	89	127	100	
一般財源	19,818	17,442	14,997	14,327	
一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)	43,160	39,100	39,100	37,800	
人工					
正規	5.2	5.0	5.0	5.0	
再任用(h31)					
再任用(h26)	1.2	0.5	0.5		
非常勤	1.3	1.0	1.0	1.0	

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・最終処分場や破砕処理センターの活動内容等を広く市民に理解してもらうため、施設見学や出前講座を積極的に実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の縮小や廃止は困難であるが、事務の見直しにより一層の合理化を目指す。

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理
(予算費目名) 浜北環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ・ ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- ・ 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

浜北清掃センターの新清掃工場の稼働後の解体を視野に入れ、その上で災害時におけるバックアップ施設としての在り方を検討する。その間、必要最小限度の維持管理を行う。
浜北環境センターの保全協定に基づき、環境保全のための適切な施設の運転管理を行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	46,369	46,733	45,381	46,814
決算	44,191	42,981	42,076	
人件費(A)	10,360	6,860	4,760	4,920
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	54,551	49,841	46,836	51,734

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
累積埋立量 (実績値が目標値を下回ることで達成)	m ³	1,000	目標	500	700	800	800
			実績	358	437	450	
90t炉・40t炉の解体及びごみ集積地としての整備並びに仮設炉施設地の整備	%	100	目標	-	-	-	-
			実績	-	-	-	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

浜北清掃センターの新清掃工場の稼働後の解体を視野に入れ、その上で災害時におけるバックアップ施設としての在り方を検討する。その間、必要最小限度の維持管理を行う。
浜北環境センターの保全協定に基づき、環境保全のための適切な施設の運転管理を行う。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

新清掃工場の稼働時期までは、必要最小限の維持管理を行う方針のもと、事業費の削減をすることができた。浜北環境センター(灰木最終処分場)の埋立については、現在、浜北区内の道路側溝汚泥と浜北区内の火災残材以外は埋立処分を行っていない。
平成29年度の埋立量は、13m³に止まり目標値の56.3%に抑えることができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	旧ごみ処理施設管理事業					10,118	7,298	0.3	0.2			
2	埋立処分場運営事業					41,616	39,516	0.3				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						51,734	46,814	0.6	0.2			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

ごみ処理施設の休止に伴う適正な維持管理

◇事業の概要

- ・休止施設の適正な維持管理
- ・新清掃工場稼働までの災害時バックアップ施設として必要最小限の維持管理
- ・稼働後には、できるだけ速やかに解体をし、災害時の収集拠点としての整備

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	9,558	8,395	7,659	7,298
	決算	7,646	6,693	6,929	
	国・県支出				
	市債				
	その他	21	19	32	36
	一般財源	7,625	6,674	6,897	7,262
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		6,160	2,660	2,660	2,820
人工	正規	0.8	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)				0.2
	再任用(h26)				
	非常勤	0.2	0.2	0.2	

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
90t炉・40t炉の解体整地(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	-	-	-	-		100
実績値	-	-	-			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・休止施設の適正な維持管理
- ・新清掃工場稼働までの災害時バックアップ施設として必要最小限の維持管理
- ・稼働後には、できるだけ速やかに解体をし、災害時の収集拠点としての整備

・事業の成果と課題

指標の達成度

新清掃工場稼働までの旧ごみ処理施設の管理運営事業については、必要最小限度の維持管理を行っている。新清掃工場稼働までは、現在の状況を維持する必要がある。そのため、解体整地及び整備は実施していない。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

旧ごみ処理施設は、必要最小限の維持管理を実施している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

大規模災害時には、浜西市災害廃棄物処理計画に基づいて、再稼働も含め適切に対応していく。また、新清掃工場稼働までに、解体計画を作成し、跡地の有効活用など公有財産管理の適正化を図る。

事業シート (事業名) 埋立処分場運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物埋立処分地施設の適正な運営維持管理

◇事業の概要

- ・埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理
- ・廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定に基づく基準の遵守と環境保全

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H14	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	36,811	38,338	37,722	39,516
	決算	36,545	36,288	35,147	
	国・県支出				
	市債				
その他	一般財源	36,545	36,288	35,147	39,516
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		4,200	4,200	2,100	2,100
人工	正規	0.6	0.6	0.3	0.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
累積埋立量(m ³) 実績値が目標値を下回ること達成				-		—
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	500m ³	700m ³	800m ³	800m ³		1,000m ³
実績値	358	437	450			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理
- ・廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定に基づく基準の遵守と環境保全

・事業の成果と課題

指標の達成度

平成29年度は、1件の火災残材と地域住民の清掃奉仕活動に伴う道路側溝汚泥のみの搬入であり、目標値の56.3%に止まっている。

降雨量が多く、地盤が伸縮するため、埋立廃棄物重量が増えたとしても、埋立量としての値は、廃棄物重量に比例した増にならない場合がある。

また、実績値を測定するポイントも限られているため、廃棄物重量と埋立量との整合が図られないことがある。なお、浸出水処理結果については、すべて基準内であり、環境への影響は認められない。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

建設後14年が経過し、設備機器類が老朽化し、修理・補修維持費用が増大している。処分場の運営については平成25年度から委託化を実施している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年3月31日付けで新たに地元町内会と環境保全協定書(5年間)を締結した。

施設の維持管理は、緊急度、重要度等を考慮し、優先順位の中で計画的に修繕等を実施していく。

また、埋立処分量と係る事業経費との費用対効果の観点から、最終処分場の存続・廃止について検討していく。

政策シート (政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 天竜環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ・ ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- ・ 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体を実施する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	10,846	35,468	14,297	64,749
決算	10,145	32,682	12,618	
人件費(A)	14,000	7,000	12,300	15,800
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	24,145	39,682	24,918	80,549

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
ごみ処理施設の解体整地(%)	%	40	目標	-	解体に向けた準備	解体に向けた準備	33%
			実績	-	解体に向けた準備	解体に向けた準備	
最終処分場の整地借地返還(%)	%	100	目標	0	-	-	-
			実績	100	-	-	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体を実施する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

ごみ処理施設の解体については、市内施設の優先度により計画的に進めていくこととなった。一方、山間に位置する施設の跡地利用が困難となっており、普通財産への所管替え後の利活用も限定的となっている。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	旧ごみ処理施設管理事業					80,549	64,749	2.0	0.5			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						80,549	64,749	2.0	0.5			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

休止及び廃止した旧焼却・旧埋立処理施設を適正に維持管理する。

◇事業の概要

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体を実施する。
 また、解体に向けた予算の確保及び事前調査を行う。
 (はるのやまびこドーム・天竜清掃センター・佐久間塵芥収集センター・はるのクリーンセンター・天竜塵芥処理場)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	—	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	10,846	35,468	14,297	64,749
	決算	10,145	32,682	12,618	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	10,145	32,682	12,618	64,749
	一般会計繰入金				
人件費 (千円)		14,000	7,000	12,300	15,800
人工	正規	2.0	1.0	1.5	2.0
	再任用(h31)			0.5	0.5
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
ごみ処理施設の解体整地(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	—	解体に向けた準備	解体に向けた準備	33	50	66
実績値	—	解体に向けた準備	解体に向けた準備			
最終処分場の整地借地返還(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	0	—	—	—	—	—
実績値	100	—	—			
ごみ処理施設の解体整地(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
最終処分場の整地借地返還(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体のためのスケジュール調整を図る。
(はるのやまびこドーム・天竜清掃センター・佐久間塵芥収集センター・はるのクリーンセンター・天竜塵芥処理場・龍山ごみ焼却場跡地)

・事業の成果と課題

指標の達成度

「ごみ処理施設の解体整地」は、解体費用等の予算確保が必要となるため市内の同様施設を優先度の高い順に順位付けし、平成30年度以降に順次進めていくこととなった。

また、処分可能となった跡地については、順次普通財産への所管替えを進め今後の利活用を図ることとした。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

旧焼却・旧埋立施設の経費の見直しと節減を図る中で維持管理を滞りなく実施できた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

はるのやまびこドームと天竜清掃センターの解体後の跡地利用や売却の見通しが現時点ではないものの、施設の老朽化による危険防止等を考慮し、平成30年度にはるのやまびこドームの解体撤去工事と天竜清掃センター解体前の土壌調査を実施する。

平成30年度

(管理番号)
04 01 04 05 001549000 01

(担当課)
天竜環境事業所

(責任者)
川島 孝司

(作成日)
平成 30 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇取組概要

旧ごみ処理施設において、施設の解体撤去を行い、借地の解消を通じた市の財政負担の軽減と市有地の有効活用を図る。【施設状況】はるのやまびこドーム:H30解体(以降、市有地の有効活用を目指す)

◇行財政改革の視点 3 ファシリティマネジメントの推進

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 _____

取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	借地面積(ha)	計画値	2.8	0	0	0	2.8
		実績値	2.8	0	0		2.8
2	施設の解体撤去(箇所) ※最終値は4年間の累計	計画値	0	0	0	1	1
		実績値	0	0	0		
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)							

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶
龍山ごみ焼却場跡地を行政財産から普通財産へ移行調整を進めた。

政策シート (政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 下水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ・ ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- ・ 再生可能エネルギー・等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	28,413	28,939	29,182	44,144
決算	28,398	28,939	29,182	
人件費(A)	700	700	700	700
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	29,098	29,639	29,882	44,844

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

○下水道事業会計負担金
 職員人件費など29,182千円を一般会計で負担した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	下水道事業会計負担金					44,844	44,144	0.1				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						44,844	44,144	0.1				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 下水道事業会計負担金

◇事業目的・事業対象

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇事業の概要

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
—	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	28,413	28,939	29,182	44,144
	決算	28,398	28,939	29,182	
	国・県支出				
	市債				
その他	一般財源	28,398	28,939	29,182	44,144
	一般会計繰入金				
	人件費(報酬等) (千円)				
人工	人件費 (千円)	700	700	700	700
	正規	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するための職員人件費等を一般会計で負担した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

職員の増員に伴う人件費負担金の増加による。